ハイパーティション

取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

■施工上のご注意

●商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。

■使用上のご注意

●製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
●フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●フェンスに雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。

■梱包明細書

①主柱セット(ベース仕様)

名　称	員数
主柱(L=2296)	1
取付説明書	1

②主柱セット(埋込仕様)

名　称	員数
主柱(L=2700)	1
取付説明書	1

③コーナー柱セット(埋込仕様)

名　称	員数
コーナー柱(L=2715)	1
コーナー柱化粧材(L=2265)	1
柱化粧材取付ネジ　φ4×35サラピアス	3
取付説明書	1

④ロング主柱セット(埋込仕様)

名　称	員数
ロング主柱(L=3200)	1
取付説明書	1

⑤ロングコーナー柱セット(埋込仕様)

名　称	員数
ロングコーナー柱(L=3215)	1
ロングコーナー柱化粧材(L=2765)	1
柱化粧材取付ネジ　φ4×35サラピアス	3
取付説明書	1

⑥桁セット1

名　称	員数
桁1(1スパン用)(L=1110)	1

⑦桁セット2

名　称	員数
桁2(2スパン用)(L=2310)	1

⑧桁セット3

名　称	員数
桁3(3スパン用)(L=3510)	1

⑨アーチ桁セット

名　称	員数
アーチ桁(1スパン用)(L=1110)	1

⑩W400桁セット

名　称	員数
W400桁(1スパン用)(L=310)	1

⑪桁連結金具セット

名　称	員数	
	柱用	桁用
桁連結金具1(柱用)	1	−
桁連結金具2(桁用)	−	1
金具組付ネジ　φ4×20ナベ特殊	4	4
桁組付ネジ　φ4×20ナベ特殊	4	4

⑫三角桁金具セット

名　称	員数
三角コーナー桁部品1	1
三角コーナー桁部品2	1
三角コーナー桁部品1組付ネジ　φ4×20ナベ特殊	4
三角コーナー桁部品2組付ネジ　φ4×30ナベ2種	2
桁組付ネジ　φ4×20ナベ特殊	4

⑬パネルセット

名　称	員数
パネル本体	1

⑭パネル上下桟セット

名　称	員数
上桟	1
下桟	1
上桟組付部品	2
下桟組付部品	2
部品組付ネジ1　φ4×30ナベピアス	3(1)
部品組付ネジ2　φ4×20ナベ特殊	8
上桟組付ネジ　φ4×32サラ特殊	4
下桟組付ネジ　φ5×30サラ3種	2

⑮パネル中桟セット

名　称	員数
中桟	1
中桟組付部品	2
部品組付ネジ　φ4×20ナベ特殊	4
上桟組付ネジ　φ4×32サラ特殊	4

⑯主柱キャップAセット

名　称	員数
主柱キャップ(樹脂製)	1
キャップ組付ネジ　φ4×30サラ1種	2

⑰主柱キャップBセット

名　称	員数
主柱キャップ(木製)	1
キャップ組付ネジ　φ4×50サラ1種	2

⑱柱固定金具セット1

名　称	員数
柱固定金具1	1
柱固定ネジ　φ5.1×32丸木ネジ	9(1)
金具固定ネジ　φ8×40六角1種	6

※(　)員数は予備数です。

1.施工時の重要注意項目(施工まえにご確認ください)

1-1 ベース仕様

<注 意>

- 「直線」、「L字」、「コの字」の施工はしないでください。必ず、枠状に組むように施工してください。
- 枠の許容最大寸法(1グリッド×2グリッド)を守ってください。
- 「桁3(3スパン用)」の「桁」を使用する場合、必ず2スパンをこえない範囲で「桁」を入れてください。
- 三角形の斜辺は「桁2」を長さに合わせて現場でカットしてください。

1-2 埋込仕様

※( )寸法は、「W400パネル」の場合

<注 意>

- 上図のようにコーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°～90°です。

2.基本寸法図および各部名称

2-1 ベース仕様

※( )寸法は、「柱キャップB(木製)」使用時の寸法です。

※三角桁金具を組付ける方向に注意してください。

パネルサイズ	H寸法
T−6パネル	600
T−8パネル	800
T−10パネル	1000
T−12パネル	1200
T−14パネル	1400
T−18パネル	1800

2-2 埋込仕様

2-3 ロング柱仕様

パネルサイズ	H寸法
T−6パネル	600
T−8パネル	800
T−10パネル	1000
T−12パネル	1200
T−14パネル	1400
T−18パネル	1800

<注 意>

- デッキ面から2300mmを越える施工はしないでください。(※1)
- G.L.からデッキ面までの最大寸法は500mmです。

2-4 パネル寸法

3.柱の組立て・桁連結金具の組付け

3-1 桁連結金具の組付け ※柱の中心に組付けます。

❶ 主柱に「柱固定金具１」を組付けます。
❷ パネルの挿入方向を確認し、「下桟組付部品」を組付けます。

<注 意>
- 下図のように柱固定側に「下桟組付部品」を合わせると位置がでます。

❸ 桁の方向を確認し、「桁連結金具１，２」を組付けます。

<注 意>
- 主柱の中心に「桁連結金具１」をつけてください。
- 桁のピッチを確認して「桁連結金具２」をつけてください。

※桁を組付ける前に桁連結金具を組付けます。

3-2 三角桁金具の組付け ※柱の中心に組付けます。

❶「三角コーナー桁部品１」を主柱に組付けます。
❷「三角コーナー桁部品２」を、「三角コーナー桁部品１」に組付けます。

<注 意>
- 三角桁金具の組付ける向きを確認してください。
  (「２.基本寸法図および各部名称」参照)
- 主柱の中心に「三角コーナー桁部品１」を組付けます。
- 「三角コーナー桁部品２」は、後で角度を調整しますのでネジは完全に締めないでください。

4.下桟の組付けとベース柱の組付け

❶ 下桟を主柱に突き当てるように組付けます。

<注 意>

- ネジを締め込みすぎて下桟を突き抜かないように注意してください。

❷ 下桟を組付けた後に、主柱を床板に固定します。

<注 意>

- 床板にあらかじめ下孔をあけておきますと、ネジを打ったときに床板が割れにくくなります。

5.主柱(埋込仕様)・コーナー柱の組付けと下桟の組付け

5-1 主柱(埋込仕様)の場合

❶「桁連結金具1」を組付けます。
(「3.桁連結金具の組付け」参照)

❷ パネルの挿入方向を確認し、記載寸法の位置に下孔をあけます。

❸「下桟組付部品」を組付けます。

5-2 コーナー柱(埋込仕様)の場合

コーナー柱断面

❶ 桁連結金具とコーナー柱化粧材をコーナー角に合わせて組付けた後、「下桟組付部品」を組付けます。
(「5-1 主柱(埋込仕様)の場合」参照)

<注 意>

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。
(「1.施工時の重要注意項目」参照)
- ネジを締め込みすぎて化粧材を突き抜かないように注意してください。

6.埋込み柱の下桟の組付け

❶ 下桟を主柱・コーナー柱に突き当てるように組付けます。

<注 意>

● ネジを締め込みすぎて下桟を突き抜かないように注意してください。

7.ロング柱の組付けと下桟の組付け

❶ 主柱の位置を決めて、デッキ面に柱孔加工を施してください。(A図参照)

❷ ロング柱に「桁連結金具1」を組付けます。

❸ 柱を入れ、デッキ面から100mmの位置に「下桟組付部品」がくる位置で柱を仮固定します。(B図参照)

❹ 下桟を柱に突き当てるようにして組付けます。(C図参照)

<注 意>

● 施工にあたっては基本図の寸法に従ってください。

A図

B図

C図

●柱をデッキの端に施工する場合

<注 意>

● 幕板ではさむようにし、木ネジや釘を多めに打つなど幕板を補強してください。

8.パネルと上桟・中桟の組付け

8-1 一段パネルの組付け

❶ 上桟に組付部品を組付けます。

<注 意>

- 組付部品は上桟断面の中心に組付けてください。

❷ 主柱と下桟の溝にパネルをはめ込みます。
❸ 上桟の溝をパネルに合わせて上桟を組付けます。

<注 意>

- 上桟の平行および高さを確認して組付けてください。
(「2.基本寸法図および各部名称」参照)

重要 中桟の溝は深さが違い、アルミ形材側の表示がある方にルーバーパネルもしくは縦格子パネルがきます。

8-2 二段パネルの組付け

❶ 中桟に組付部品を組付けます。

<注 意>

- 組付部品は中桟断面の中心に組付けてください。
- 上段・下段パネルの向きに金具を組付けてください。

❷ 主柱と下桟の溝にパネルをはめ込みます。
❸ 中桟の溝をパネルに合わせて中桟を組付けます。
❹ パネル(上段)と上桟を組付けます。

<注 意>

- 上桟・中桟の平行および高さを確認して組付けてください。
(「2.基本寸法図および各部名称」参照)

9.桁の組付け

屋根小桟を組付ける場合は「屋根小桟」の施工手順に従ってください。(別紙取付説明書参照)

❶ 三角コーナー桁長を現場で計り、桁をカットします。
❷ 桁を金具に差込み、柱および金具に突き当てながら組付けます。
❸ 三角桁金具のネジを完全に締めます。

計算式

桁長さL＝(柱ピッチA)×1.41－107.42

参考例：柱ピッチA＝1200の場合

L＝(1200×1.41)－107.42＝1585㎜

<注 意>

- 計算はあくまで目安です。現場で必ず長さを計ってください。

10.柱キャップの組付け

柱ギボシを組付ける場合は「柱ギボシ」の施工手順に従ってください。(別紙取付説明書参照)

❶ 柱キャップを主柱に組付けます。

<注 意>

- 埋込仕様の柱にはタッピングホールの方向にネジを合わせてください。
- キャップの向きにご注意ください。

工事店様へ

- 埋込み柱の基礎は規定の寸法を必ず守ってください。
- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に完全に拭き取ってください。
- 木は生きものですから自然環境下において、使用にさしつかえない範囲での反り、曲り、ヒビ等が発生する場合があります。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し願います。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 木は生きています。
  ニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。
- 木材保護塗装品は、1年をめどに塗り替えをしてください。
  お手入れの状況(回数・丁寧さ等)で耐用年数に差が出てきます。
- フェンスをゆすったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- フェンスに雨具、洗濯物、布団等を乗せないでください。

取説コード
C216

LDA819391C
98-02A
201108E_1001